

研修企画書

作成 2025年1月27日

企画No.

24-000

ページ

1/2

提出先			様
研修テーマ	スピーチロックを回避する		対象・人数 約30名
日時	2025年度	時間数 4時間	テキスト・資料 原稿を納品いたしますので、ご参加人数分ご準備下さい。
会場			
担当講師	永井 則子		
<p>◆ 学習の狙い</p> <p>この企画は、スピーチロックを回避し、ご利用者の安全確保とご利用者の人権に優しい care の両立を目指します。</p> <p>◆ 学習の内容</p> <ol style="list-style-type: none">1. スピーチロックとは<ol style="list-style-type: none">(1) 虐待防止法の理解(2) 法的視点で眺めた3ロック(3) スピーチロックが起きる背景の理解2. スピーチロックのリフレクション<ol style="list-style-type: none">(1) 自己のスピーチロックの観察(2) ご利用者の言動の背景の観察と理解(3) 心理的柔軟性と共感の言葉かけ(4) 捉え方の変革と言動3. まとめ<ol style="list-style-type: none">(1) スピーチロック回避に向けて(2) 明日からの取り組み計画 <p>◆ 研修の方法</p> <p>◆ ご準備いただくもの</p> <ul style="list-style-type: none">・ホワイトボード・模造紙 … 1枚/グループ・水性マジック … 1セット/グループ・パワーポイント用プロジェクタ&PC・グループ編成表 … 4~5名/グループ・付箋(75×75) … 100枚/グループ <p>◆ その他のお願い</p> <p>各自スマートフォン、iPhone、iPadなどQRコードを読み取れるデバイスをご持参のうえご参加ください。</p>			

有限会社 ビジネスブレン
TEL 044-865-3081

企画

永井

研修スケジュール

企画No.	ページ
24-000	2 / 2

時間	カリキュラム	主な内容
00:00	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション (講義・グループワーク) ・研修の目的、目標と進め方の確認 ・患者と私たちのウェルビーイング ・成功の循環サイクル ○高齢者虐待防止法から眺めた言動 (講義・グループワーク) ・高齢者虐待防止法とは ・高齢者虐待の5つの種類 ・気になる言動とは ・振り返りの4レベル ・演習 ・ダブルループ学習とは ・演習 ○スピーチロックを好ましい言動へ (講義・グループワーク・演習) ・スピーチロックとなる言動 ・捉え方の軸を変える ・言い換えを考える ・ご家族への指導責任 	<ul style="list-style-type: none"> * 何のために、どのような内容を、どのような方法で学ぶのかを確認する。 * WHO が唱えるウェルビーイングについて再確認をし、私たちの課題につなげる。 * 成功の循環モデルについて学び関係性構築とケアの生産性について確認をする。 * 高齢者虐待防止法の内容を確認する。と同時に、高齢者虐待の5つの種類を日常の場面に照らして確認をする。 * 気になる言動を具体的に洗い出し、それらの言動を修正するためのダブルループ学習について理解する。 * スピーチロックとはどのような言動か、その言動の背景となる経験、感情、価値判断を観察する。 * 捉え方の軸を変えることで新たに見えて来る内容をPOSで検討する。 * 「家族の好ましい言動」への指導のあり方を考える。
02:00	休 憩	
02:10	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークショップでの能力向上 (講義・グループ実習) ・学習する組織とは ・討議から対話へ ・体験を語るとは ・自己観察の4段階と傾聴 ・演習 ○心理的柔軟性を磨く (講義・演習・実習) ・心理的柔軟性とは ・感情、価値判断の保留 ・未来に思考を飛ばすとは ・レジリエンス ○まとめ ・明日からの目標 	<ul style="list-style-type: none"> * 身体拘束低減、スピーチロックの回避は組織文化として育む必要がある。そのためにはワークショップなど対話と体験を通じた学びが大切となる。ここでは議論と対話の相違を確認する。 * 自己観察の4点セットで自己の言動との向き合い方を学ぶ。 * 心理的柔軟性とは状況に応じた好ましい行動を選択するしなやかな価値判断、リーダーシップと言える。心理的柔軟性を磨くStepについて事例を通して学ぶ。 * 活動中に困難に遭遇し強いストレスを感じた時に、如何に上手く自分を回復させるかを考える。 * 学んだこと、気づいたこと基に明日からの行動設定をする。
04:00		

※ 講師の判断で一部内容を変更することがあります。